

データ・調査・評価による学生の学修実態の理解Ⅲ

【2015年度全体テーマ】

学士課程の学修成果の検証結果と 今後の評価方法の可能性

学生たちが何をどのように学んでいるのか、どのようなニーズを持っているのか、卒業までにどのような学修成果を挙げているのかといった事柄を計画的体系的に把握し、教育の改善やFDに生かしていく仕組み（教学IR）は、大学を効果的に運営する上でも外部評価に対応するためにも重要なものとして注目されています。一昨年度からのFD研究会では、本学で教学IRをどのように構築、活用していくかについて考える企画を実施しており、本年度は最終年度にあたります。

第13回FD研究会では、大阪市立大学の学生の学修実態や学修成果に関するデータ等をもとに、これからの教育とFDのあり方等について議論をしたいと思えます。昨年度には機関別認証評価対応のための学生調査・卒業生調査が実施されました。また全学的な教育改革の一環として副専攻制度がスタートしており、そこで学ぶ学生の学修成果を適切に把握するための取り組みも進んでいます。学修成果とカリキュラムの可視化を進めるための仕組みも具体化しつつあるところです。これらについての話題提供をもとに、これからの教育と評価のあり方について検討できればと思います。

日時

2015年 **11月2日(月)**
午後1時30分～5時
(終了後、懇談会)

場所

大阪市立大学 杉本キャンパス
学術情報総合センター
10階会議室

申込先

大学教育研究センター
E-mail: center@rdhe.osaka-cu.ac.jp
FAX: 06-6605-2137

プログラム

13:00	受付開始
13:30	開会挨拶(西澤良記 学長)
13:40~14:15 (内、質疑5分)	①「科目ナンバリングと学修成果の可視化」 (橋本文彦 経済学研究科教授・教務担当部長)
14:15~14:50 (内、質疑5分)	②「学部横断型教育プログラムとしての副専攻の学修成果の把握:CR副専攻を中心に」 (平知宏 大学教育研究センター特任講師)
14:50~15:25 (内、質疑5分)	③「学生・卒業生調査結果から見える大阪市立大学学生の学修実態と学修成果」 (西垣順子 大学教育研究センター准教授)
15:25~15:40	休憩
15:40~16:45	全体討論 コメンテーター: 桐山孝信(法学研究科教授) 阿多信吾(工学研究科教授)
16:50	閉会

司会: 長谷川健一(文学研究科)・大久保敦(大学教育研究センター) 全体企画: 西垣順子(大学教育研究センター)

※ 閉会後に懇談会(無料)を予定しております。お時間の許す方は、是非ともご参加ください。皆さまには、万障お繰り合わせの上、宜しくご参集下さいますようお願い申し上げます。

主催: 大阪市立大学 大学教育研究センター
共催: 全学共通教育教務委員会・全学評価委員会